

市民セミナー

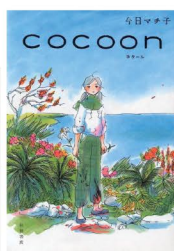
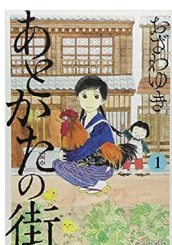
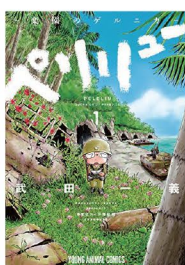
漫画で伝える戦争と平和

2021 **11/6** 土 13:30 ~ 15:00

会場 / 浦上キリシタン資料館

前半

戦後世代はどう戦争を描いてきたか？



戦争体験のない漫画家が描く作品からは「戦争漫画に挑む」気迫や工夫が伝わってきます。4つの作品をとおして、戦争の場面や心理描写などの表現を紹介します。

後半

歌で伝える戦争の記憶

歌が生まれた背景にある戦争と、歌詞にこめられた平和への願いを紹介します。

- 読谷村に歌碑が建つ「さとうきび畑」
- スペインの修道士が伝えた曲と、聖書の一節が、国境をこえた和解の歌になった
「幸せなら手をたたこう」



語り手 西岡 由香 (にしおか ゆか)

漫画家。1999年「ピースボート」地球一周の旅をきっかけに平和活動始める。2008年、長崎原爆をテーマとした『夏の残像 ナガサキの八月九日』を発表。2015年、「被爆マリアの祈り—漫画で読む三人の被爆証言」で平和・協同ジャーナリスト基金賞特別賞を受賞。著書「愛のひと ド・ロ神父の生涯」、「愛のまち 漫画で読む長崎キリシタン史」、絵本「パパ様と長崎」(長崎文献社)など。

- 主催:  アジェンダNOVAながさき
<http://www.feature.jp/agenda/>

- 申し込み: 浦上キリシタン資料館 (長崎市平和町 11-19)
(電話 / FAX 095-807-5646 ・ メール urakamicm@mx.cncm.ne.jp) 宛に氏名・連絡先をご連絡ください。
- 問い合わせ: 林田 (090-7923-7435) (新型コロナ対策のため、入場時に検温させていただきます)

参加費 500 円 高校生以下無料
【定員 20 名 (先着順)】